

派遣後の活動



▲我孫子第二小学校のリレー講座にて、校長先生や派遣中学生の先輩たちと
(R3.12.10)

■被爆 76 周年我孫子市平和祈念式典



我孫子中・後藤大輝さん

私たちは、8月14日土曜日に行われた、我孫子市平和祈念式典に参加しました。
広島派遣団として紹介され、一人一人の自己紹介をしました。そして、団長が広島派遣の報告と平和宣言を読み上げました。



布佐中・濱井賢治さん

式典のあとには、J:COMさんからインタビューを受けました。広島派遣での感想などを中心に話をしました。

式典への参加を通じて、私たちの経験をより多くの人たちに伝えていくことが必要であると、改めて感じました。



■我孫子市平和祈念式典について

我孫子市原爆被爆者の会との共催により、被爆 76 周年平和祈念式典を開催しました。天候不良により、昭和 61 年に式典が開始されて以来、初めて室内での開催となりました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席の間隔を空けるなどの対策をとって、規模を縮小しての開催となりました。参列した約 60 名は、原爆犠牲者に哀悼の意を捧げるとともに、核兵器廃絶と平和を祈りました。

原爆の恐ろしさや悲惨さ、平和の尊さを次の世代に伝えていくため、市では若い世代にも平和事業に携わってもらう工夫をしています。その一環として、司会進行を我孫子市平和事業推進市民会議の高校生と大学生が務めました。



■式典のスケジュール

令和 3 年 8 月 14 日(土)午後5時00 分から

我孫子市生涯学習センターアビスタ内ホール

<司会進行> 平和事業推進市民会議委員

原 直輝(大学 1 年生)、早乙女 凜(高校 2 年生)

| | |
|-------|--|
| 17:30 | 開式 |
| 17:32 | 参列者全員による黙とう |
| 17:33 | 式辞 我孫子市長 星野 順一郎 |
| 17:35 | 来賓紹介 |
| 17:40 | 広島派遣中学生の紹介、報告 ・派遣団 12 名の紹介 ・団長挨拶、派遣報告 我孫子中学校 城野 來海 |
| 17:50 | 閉式 |

■我孫子市長 式辞

本日は、被爆 76 周年平和祈念式典に際し、ご来賓各位並び我孫子市原爆被爆者の会の皆様のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の平和祈念式典は、天候不良のため室内での開催とさせていただき、また、昨年と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小した形での開催とさせていただきました。

さて、広島と長崎に原子爆弾が投下されたあの忌まわしい日から 76 年が過ぎました。

原子爆弾は、一瞬のうちに多くの尊い生命を奪っただけでなく、辛うじて一命をとりとめた人々にも、心身共に生涯消えることのない深い傷を残しました。

原爆並びに先の大戦で犠牲となられた御霊に対し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

今年で 17 回目となる被爆地への中学生派遣では、市内 6 校の代表生徒 12 名とともに、広島市を訪問してまいりました。例年は、広島に原爆が投下された 8 月 6 日の平和記念式典に合わせて広島を訪問しておりましたが、今年も新型コロナウイルスの感染拡大の影響により参列者が大幅に縮小されたため、時期を遅らせ、8 月 9 日から 11 日に訪問しました。式典には、参列できませんでしたが、被爆した小学校の見学や被爆された方から直接お話を伺うなど、現地での体験を通じて、戦争や原爆の恐ろしさ、平和の大切さを、派遣中学生たちは学んでくれたのではないかと感じています。

明日 8 月 15 日は、終戦からちょうど 76 年目の日にあたります。戦争体験者や被爆者の方々が高齢化するなか、同じ過ちを二度と繰り返さないよう、当時の悲惨な記憶と記録を後世へ伝えていくことがますます重要になっています。

我孫子市においても、被爆の実相を後世へ伝えていくために、長年にわたり平和事業に取り組み、市とともにこの平和祈念式典を開催してきた我孫子市原爆被爆者の会は、会員の高齢化に伴い会員数も減少し、会として活動していくことが難しくなっています。そうした状況もあり、会長の的山さんは、今年から一般参加者としてご参列くださっております。

我孫子市は、唯一の被爆国として、また、平和都市宣言をしている自治体として、今後も、核兵器のない世界が実現されることを強く願い、被爆者の方々の平和への思いを胸に刻みながら、広島や長崎に派遣された経験をもつ若い世代をはじめ、多くの方々とともに平和事業に取り組んでまいります。

結びに、日頃から市の平和事業にご尽力いただいております我孫子市原爆被爆者の会や平和事業推進市民会議、歴代の派遣中学生の皆様へ感謝を申し上げますとともに、本日、ここにご臨席の皆様方のますますのご健勝を心からご祈念申し上げまして、式辞といたします。

令和 3 年 8 月 14 日 我孫子市長 星野 順一郎

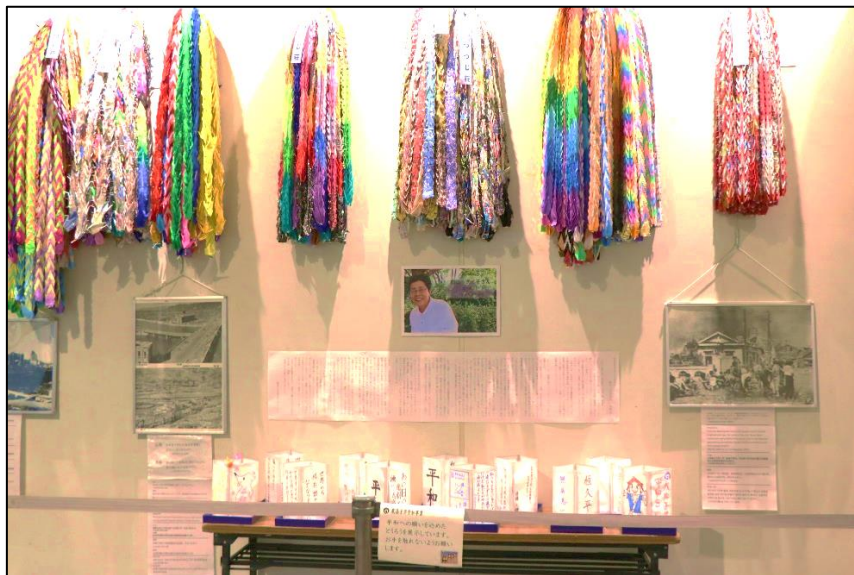
■原爆に関する写真と平和祈念の折り鶴展・平和祈念のとうろうの展示

平和祈念式典の開催に合わせ、「原爆に関する写真と平和祈念の折り鶴展」をアビスタのストリートで開催しました。我孫子市原爆被爆者の会より寄贈された写真パネルと、市民の方々から集まった千羽鶴、そして戦後 60、65、70 年に発行した平和祈念文集から、3 名の方の戦争体験・平和祈念の文章を展示しました。

また、平和祈念式典の開催に合わせて「手賀沼とうろう流し」を開催予定でしたが、天候不良により中止となりました。派遣中学生や市民の方々が思いを込めて作ったとうろうは、千羽鶴などと一緒に展示しました。

<展示期間> 8月6日(金)～8月19日(木)

(とうろうの展示は8月14日(土)～8月19日(木))



灯ろうに込めた平和への思い・願い

広島派遣を終えた中学生も、一人ひとり、灯ろうに平和への思いや願いを記しました。

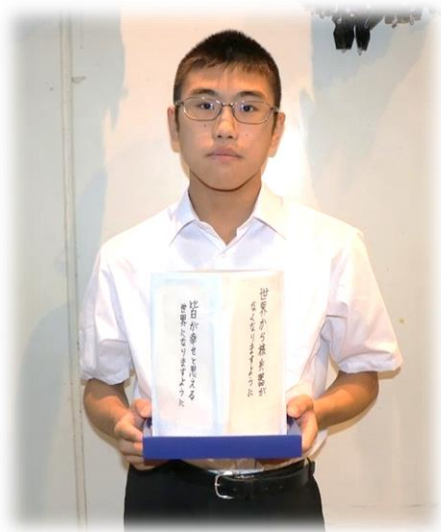


【我孫子中・城野來海さん】

私は、このとうろうが平和へつながる明かりとなり、世界中すべての人の笑顔が満開になってほしい、という思いを込めて作りました。

【我孫子中・後藤大輝さん】

私は広島派遣を通して、平和について深く考えることができました。世界から核兵器が無くなって、すべての人が笑顔になれるような世界になったらいいと思います。



【湖北中・久野優太さん】

私はこのとうろうに『明日へ繋げる』と書きました。今の平和がこの先もずっと続いていけるよう、この言葉を書きました。



【湖北中・植田ひなたさん】

私は『世界中の人が同じ思いで戦争に反対できる世界になりますように』と書きました。世界からはまだまだ核兵器がなくなりません。なぜでしょうか。それは、国同士が警戒しあっているからだと思います。すべての人が反対することで、戦争をする必要も核兵器を持つ必要もなくなり、本当の平和が世界に訪れることを願っています。

【布佐中・佐藤夢姫さん】

私は『あの日の悲劇を繰り返さない』と書きました。派遣で見た人々の被害の様子は恐ろしく、この大地に二度と原爆が落とされないことを願って書きました。



【布佐中・濱井賢治さん】

私は『笑顔』と書きました。毎日おびえながら過ごすのではなく、みんなで楽しく、笑顔で過ごせればいいと思ったからです。



【湖北台中・菊池未来さん】

私は『世界中の人々が笑顔で生活できますように』と書きました。戦争も核兵器もなくなり、世界中の人々が安心して過ごせる日が来ることを願って作りました。



【湖北台中・石黒花奈さん】

私は、平和だとみんなが笑顔でいられると思います。戦争で失われた笑顔も多くあります。そのために私は『世界中に笑顔の花を咲かせよう』と平和の願いを込めて作りました。

【久寺家中・吉田陽菜乃さん】

私は『核兵器をつかうことのない平和な世界へ』と書きました。平和記念公園にある「平和の灯」は、世界から核兵器がなくなったときに消されると言われています。私は、核兵器がつかわれることがなくなり、灯の火が消せることを願っています。





【久寺家中・北澤夢椛さん】

私は、実際に聞いた被爆者の方の思いを、周りの人や次の世代に伝える架け橋になりたい、という思いをこのとうろうに込めました。

【白山中・舟木千智さん】

私は平和な世の中が続くように、今回学んだ戦争の恐ろしさや平和の尊さを忘れず、未来に繋げていくために、多くの人に伝えたい、という思いを込めて作りました。



【白山中・高橋蒼太郎さん】

私は『後世に伝える』と書きました。忘れてほしくない、という思いを込めて書きました。



■広島・長崎派遣中学生リレー講座 ～未来を生きる子どもたちへ～



布佐中・濱井賢治さん

2学期以降、「広島・長崎派遣中学生リレー講座」に参加しました。このリレー講座は、平成27年度に戦後70年の記念事業としてスタートしたものです。派遣中学生の先輩たちとともに、市内の小学校6年生の児童のみなさんに平和をテーマにした授業を行います。



布佐中・佐藤夢姫さん

1時間の授業の中で、派遣体験のこと、原子爆弾のこと、身近な平和について考え、授業の最後には「平和な世の中にするために今日から自分ができること」をテーマに「平和の木」の葉っぱに平和のメッセージを記入します。

他の学年の派遣中学生の先輩方と共に活動している中で会話をする場面があり、みんながそれぞれ持っている意見や考えに触れ、新しい視点の「平和」が見つかります。

言葉のバトンを渡された小学生にも、新たに平和に対する考えが芽生えていく過程を見るのはとても楽しいです。



久寺家中・北澤夢椛さん

私は第四小学校と並木小学校のリレー講座に参加しました。

小学生に自分の体験したこと・見たこと・感じたことを伝えることで、「次の世代に繋げる・伝えていく」ということを、ほんのわずかですが実行出来たのではないかと思います。

これからもリレー講座や生徒会活動などを通じて、たくさんの人に自分の体験を伝えていきたいです。



久寺家中・吉田陽菜乃さん

私は並木小学校のリレー講座に参加しました。
私自身、小学校のときに受けたリレー講座は印象に残っていて、平和について考えるきっかけとなりました。

「平和な世の中にするために今日から自分ができることは何か」という質問に対し、小さなことから始めようと考えてくれる小学生が多くいたように感じています。

派遣を通して、このような機会を頂いたことに感謝し、これからも平和を伝えていく活動に貢献していきたいと思います。



湖北台中・石黒花奈さん

私は湖北台西小学校のリレー講座に参加しました。

平和なことは？という質問に、「友達と話したり遊んだりできること」や「家族といられること」など多くの意見を出してくれました。

リレー講座を通し多くの子が平和の尊さをわかってくれたと感じ、とても嬉しく思いました。

これからもリレー講座に参加し、感じたことを伝えて行きたいと思います。

世界の核兵器保有数(2021年1月時点)

| 国名 | 配備核弾頭 | その他核弾頭 | 核兵器数 |
|-----------|--------------|--------------|---------------|
| 米国 | 1,800 | 3,750 | 5,550 |
| ロシア | 1,625 | 4,630 | 6,255 |
| 英国 | 120 | 105 | 225 |
| フランス | 280 | 10 | 290 |
| 中国 | - | 350 | 350 |
| インド | - | 156 | 156 |
| パキスタン | - | 165 | 165 |
| イスラエル | - | 90 | 90 |
| 北朝鮮 | - | [40~50] | [40~50] |
| 合計 | 3,825 | 9,255 | 13,080 |

ストックホルム国際平和研究所 (SIPRI)



湖北台中・石黒花奈さん

現在、世界には、核兵器が約1万3千発あるといわれています。しかも、広島に投下された原爆の威力をはるかに超える水素爆弾を保有している国があります。現存する世界中の核兵器は、地球上の全ての生命を何度も壊滅させることができる分量といわれています。

広島派遣で、原爆に関する建造物を見学し、被爆された方から実際にお話を伺ったことで、原爆についてたくさん学び、感じ取ることができました。

私は教科書の写真でしか見たことがなかった原爆ドームを見た時、背筋が凍り、胸が締め付けられるような思いになったことを今も覚えています。

それは私だけでなく、この派遣メンバー全員が体験したことだと思います。

私たちは、このことをリレー講座などを通して多くの人に伝え、この先核兵器がなくなり、同じ過ちを繰り返さない平和な世界への先駆けとなります。

皆さんも戦争について、原爆について、平和について今一度考えてみてください。



布佐中・佐藤夢姫さん



ありがとうございました

令和3年度広島派遣中学生

■平和の集い ～我孫子から平和を願う～

12月5日(日)に、けやきプラザ2階ふれあいホールで「平和の集い～我孫子から平和を願う～」を開催しました。前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な対策を講じた中での開催となりました。通常の半分となった座席がほとんど埋まるほどの、約260名が来場し、中学生による派遣報告などに耳を傾けました。この事業は市と我孫子市平和事業推進市民会議の共催事業で、市民会議委員の大学生2名が司会を務めました。

<司 会> 我孫子市平和事業推進市民会議委員

籾山 大雅 長塚 彩乃



■第1部 広島派遣中学生による報告

令和3年8月に広島市に派遣した中学生12名が、現地で学び感じたこと、平和について考えたことなどを発表しました。派遣報告の最後は、中学校ごとの「平和宣言」で締めくくられ、中学生たちは自分の言葉で平和への思いを語りました。

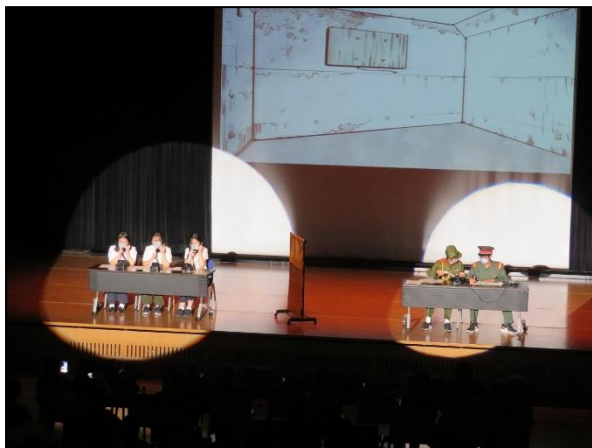


■第2部 我孫子中学校演劇部「ヒロシマの青い空の下で」

市内中学校唯一の演劇部である我孫子中学校演劇部は、平成25年から毎年、戦争や平和をテーマにした演劇を通して、観る人に平和の尊さを伝え続けています。今年も14名の中学生たちが一生懸命演じました。

<あらすじ>

修学旅行で広島を訪れた横浜の中学生たちは、語り部の岡よしえから、広島での戦時中の話を聞く。そのころ女学生だった岡は、学徒動員で軍の通信の仕事をしていた。そこで岡が見たものは…仲良しのさちちゃんの運命は…あの時、時間通りに仕事を変わっていたら…生かされている運命を後の世代に伝えていく語り部の方々の思いとは…。



■「平和の集い～我孫子から平和を願う～」展

平和の集いの開催に合わせて、2 会場で展示会を開催しました。

アビシルベでは11月25日から12月5日まで、広島平和記念資料館所蔵の「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル」や、市民から寄せられた千羽鶴などを展示しました。

けやきプラザのギャラリーでは、12月1日から12月5日まで、広島・長崎派遣中学生リレー講座の様子や、広島の高校生が描いた「原爆の絵」などを展示しました。

▼アビシルベの展示の様子



▼けやきプラザ 第1 ギャラリーの展示の様子



▼けやきプラザ 第2 ギャラリーの展示の様子





abikogram

@heiwa_2021

#平和の集い#派遣中学生#我孫子中演劇部
#2021#12月5日#終戦76年

🦋 プログラム 🦋

第1部
13時40分～14時40分
広島派遣中学生による報告

休憩

第2部
14時50分～15時40分
我孫子中学校演劇部による発表

～最速観覧～
・12月5日～初月15日
「アビシムペ」
「けやきプラザギャラリー1、2」

広島平和記念資料館所蔵の写真
我孫子市平和事業紹介など

! 入場無料・コロナ対策万全!
年齢問わず大歓迎です。
感染症対策のためにマスクの着用、入場時には検温、
手指消毒、お名前の記入をお願い致します。
(会場の定員を超えた場合、お断りさせていただくことがあります)

～お問い合わせ～
我孫子市企画課 04-7185-1111(内線212)

▲平和の集いチラシ

◆我孫子から平和を願う～我孫子市平和事業ブログ～◆

我孫子市の平和事業や平和事業推進市民会議の
取組みを紹介しています。

令和3年度「平和の集い」の様子も、
映像とともに紹介しています。



<http://peace-abiko.blogspot.com/>